

2021年3月期 会社説明会資料

2021年5月25日



目次

・はじめに（プロフィール）		1	
【Ⅰ. 2021年3月期決算概要】			【Ⅱ. 経営戦略】
・損益概要		3	・中期経営計画「ALL for the Region」 12
・資金利益		5	・コロナ禍における取組み 13
・円貨貸出金利回り推移		6	・グループ総合力の発揮 14
・有価証券		7	・法人戦略 17
・非金利収入		8	・個人戦略 19
・経費・与信費用		9	・デジタル化・Fintech 21
・自己資本比率・ROE		10	・地域社会活性化 23
・業績予想		11	～ESG/SDGsへの取組み～



Public Private ACTION for Partnership!!
 ～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
 その主役はあなたです!～

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言（2019.4.1）

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会の Sustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

経営理念

- 地域共栄** : 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
- 公正堅実** : 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
- 進取創造** : 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

ほくほくフィナンシャルグループ Hokuhoku Financial Group

設立 : 2003年
本店所在地 : 富山市
資本金 : 708億円
自己資本比率 : 9.45%
格付 : A (R&I)



北陸銀行

設立 : 1943年
(創業1877年)
本店所在地 : 富山市
店舗数 : 国内188(支店145・出張所43)
海外5

従業員数 : 2,378人
(在籍ベース)

資本金 : 1,404億円

自己資本比率 : 9.14%

格付 : A (R&I) ・ A- (S&P)



北海道銀行

設立 : 1951年

本店所在地 : 札幌市
店舗数 : 国内144(本支店136・出張所8)
海外3

従業員数 : 2,202人
(在籍ベース)

資本金 : 935億円

自己資本比率 : 8.88%

格付 : A (R&I)



I . 2021年3月期 決算概要

損益概要(連結・2行合算)

・コア業務純益が期初予想を29億円上回ったこと、および有価証券売買益の増加等により、連結経常利益は期初予想を62億円上回る322億円、連結当期純利益は同48億円上回る213億円になりました。

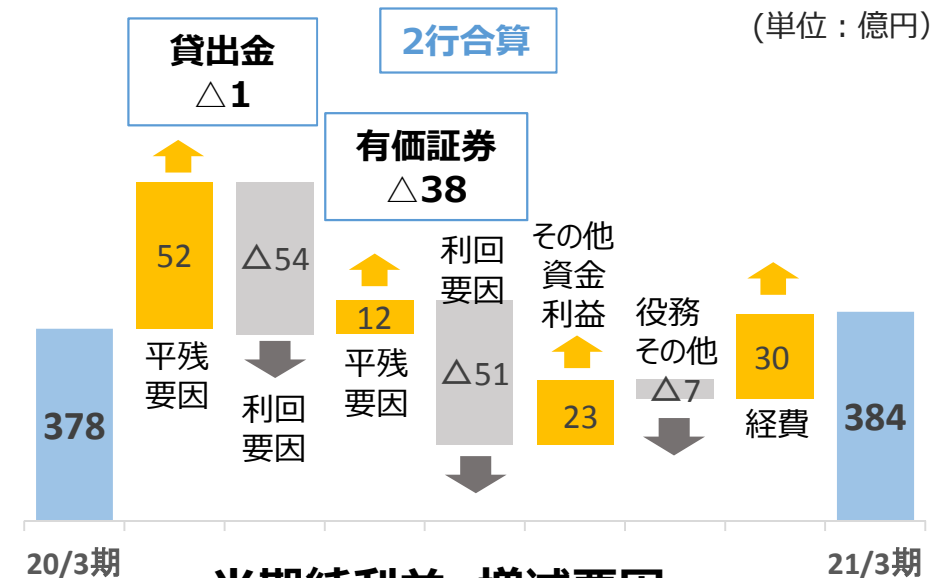
2021/3期 損益

【億円】				
【ほくほくFG連結】	期初 予想	実績	前期比	期初 予想比
経常利益	260	322	5	62
親会社株主に帰属する当期純利益	165	213	10	48

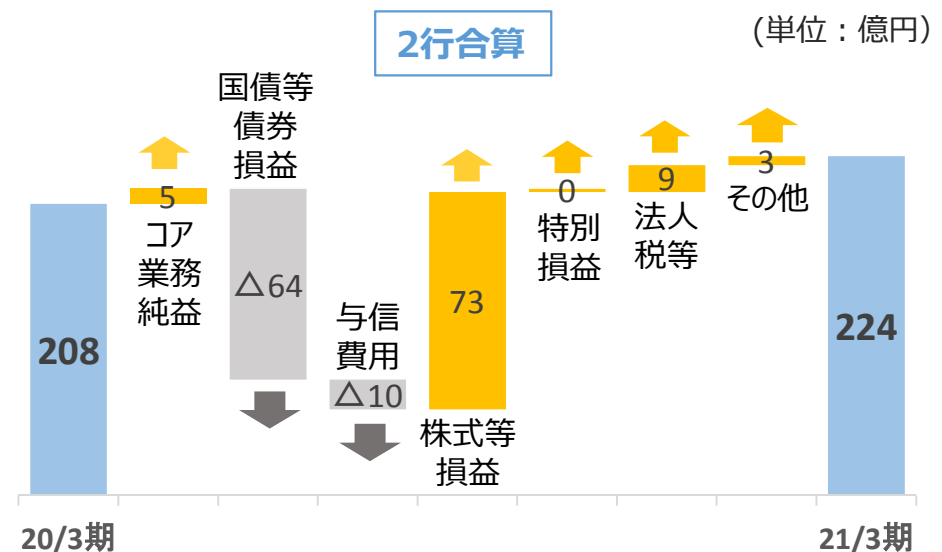
【2行合算】	業績 予想	実績	前期比	業績 予想比
コア業務粗利益	1,210	1,207	△ 24	△ 2
資金利益		1,037	△ 17	
うち貸出金利息		840	△ 1	
うち有価証券利息		193	△ 38	
役務取引等利益		159	△ 5	
特定取引利益		0	△ 0	
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		10	△ 0	
経費 (△) (臨時処理分を除く)	855	823	△ 30	△ 31
コア業務純益	355	384	5	29
(投資信託解約損益を除く)		376	30	
国債等債券損益		20	△ 64	
実質業務純益 (※)		404	△ 59	
一般貸倒引当金繰入 (△)		28	0	
臨時損益		△ 55	65	
うち不良債権処理額 (△)		102	10	
うち株式等損益		54	73	
経常利益	270	320	5	50
特別損益		△ 10	0	
法人税等 (△)		85	△ 9	
当期純利益	180	224	16	44
(参考)与信費用 (△)	120	130	10	10

※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因



当期純利益 増減要因



損益概要(北陸銀行・北海道銀行)

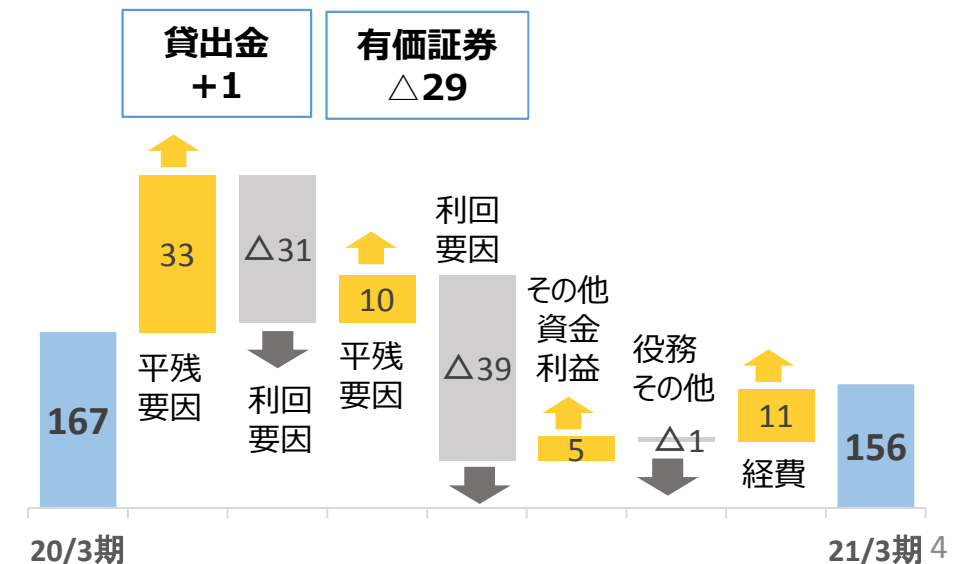
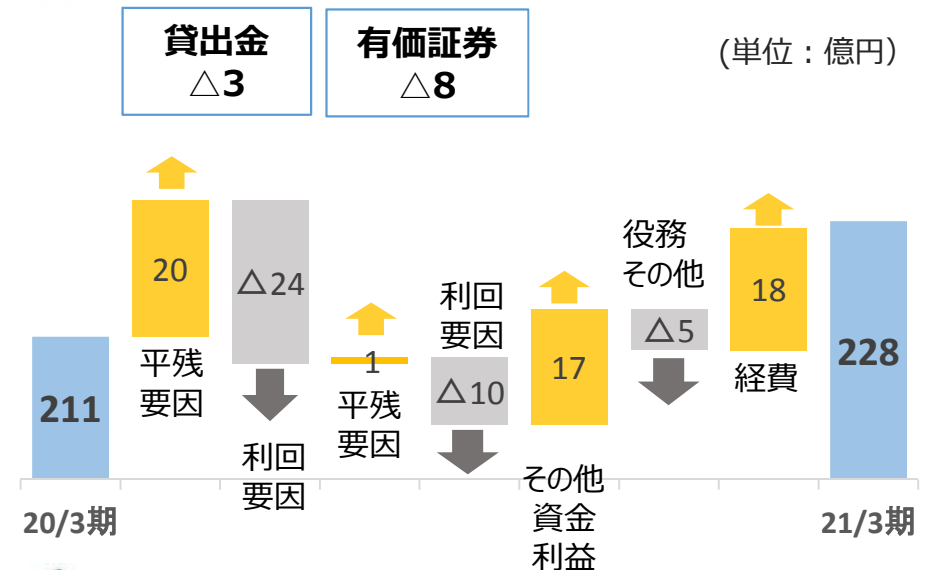
2021/3期 損益

(億円)

	北陸		北海道	
		前期比		前期比
コア業務粗利益	667	△ 1	540	△ 23
資金利益	557	4	479	△ 22
うち貸出金利息	424	△ 3	415	1
うち有価証券利息	133	△ 8	60	△ 29
役務取引等利益	101	△ 4	58	△ 1
特定取引利益	0	△ 0	-	-
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	7	△ 1	3	0
経費 (△) (臨時処理分を除く)	439	△ 18	384	△ 11
人件費	218	△ 8	174	△ 4
物件費	186	△ 10	180	△ 7
税金	33	0	30	△ 0
コア業務純益	228	16	156	△ 11
(投資信託解約損益を除く)	215	15	161	14
国債等債券損益	18	△ 29	1	△ 35
実質業務純益 (※)	247	△ 12	157	△ 46
一般貸倒引当金繰入 (△)	17	△ 4	11	4
臨時損益	△ 24	36	△ 30	29
うち不良債権処理額 (△)	67	△ 3	35	13
うち株式等損益	38	37	16	36
経常利益	205	27	115	△ 21
特別損益	△ 8	0	△ 1	0
法人税等 (△)	53	△ 2	32	△ 7
当期純利益	142	30	81	△ 13
(参考)与信費用 (△)	84	△ 8	46	18

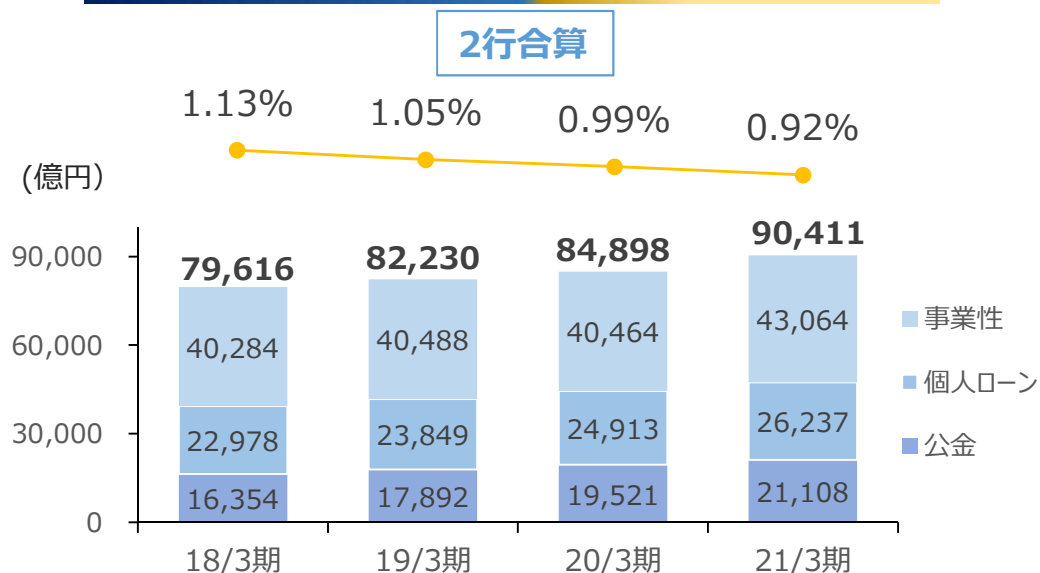
※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因

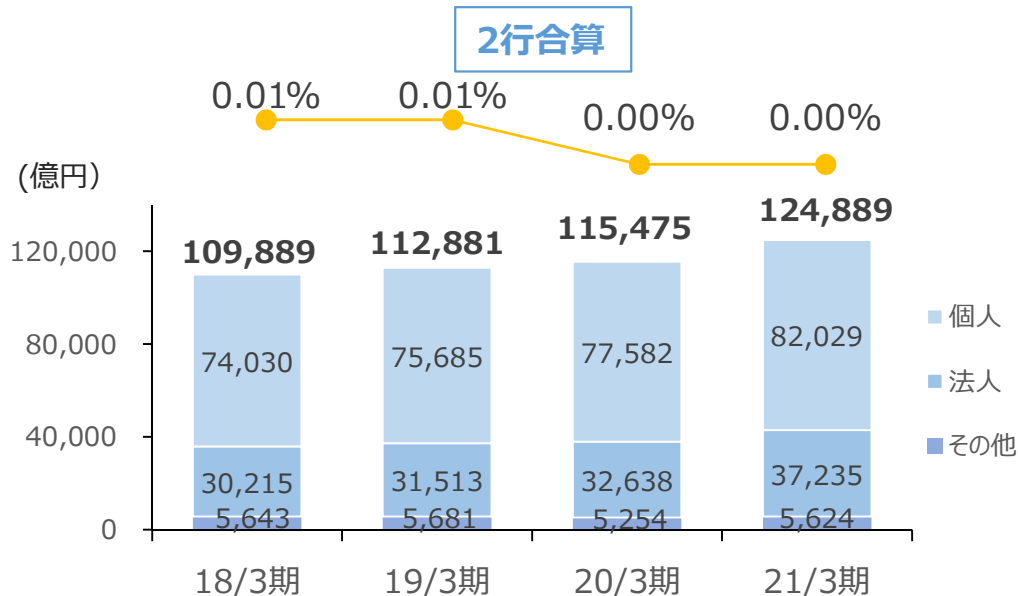


資金利益は、貸出金平残増加により有価証券利息減少を一部カバーし、前期比17億円減少の1,037億円となりました。

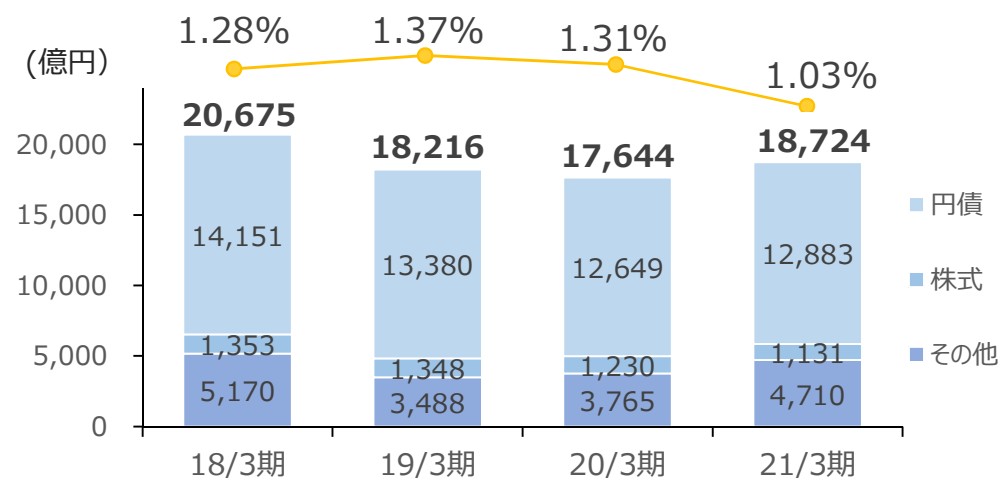
貸出金平残・利回り推移



預金平残・利回り推移



有価証券平残・利回り推移



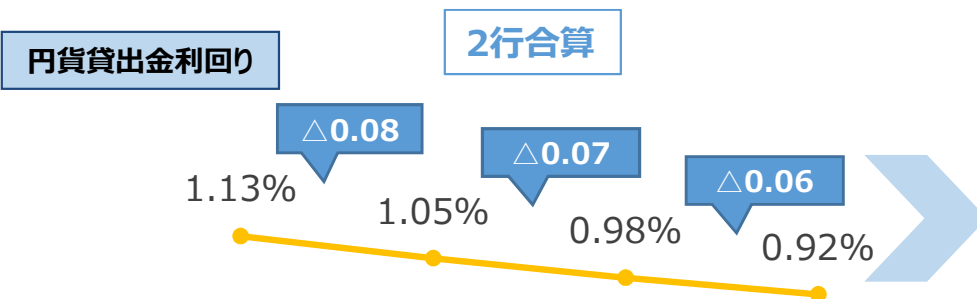
資金利益

21/3期	2行合算	前期比	北陸	前期比	北海道	前期比
資金利益	1,037	△ 17	557	4	479	△ 22
うち貸出金利息	840	△ 1	424	△ 3	415	1
貸出金平残	90,411	5,512	50,514	2,407	39,896	3,104
利回り	0.92%	△0.07%	0.84%	△0.05%	1.04%	△0.08%
うち預金利息 (△)	6	△ 4	4	△ 3	1	△ 1
預金平残	124,889	9,413	71,561	5,046	53,327	4,368
利回り	0.00%	△0.00%	0.00%	△0.01%	0.00%	△0.00%
うち有価証券利息	193	△ 38	133	△ 8	60	△ 29
有価証券平残	18,724	1,079	11,143	135	7,581	944
利回り	1.03%	△0.28%	1.19%	△0.10%	0.79%	△0.56%
【参考】外貨調達コスト(△)	6	△ 16	5	△ 12	1	△ 3

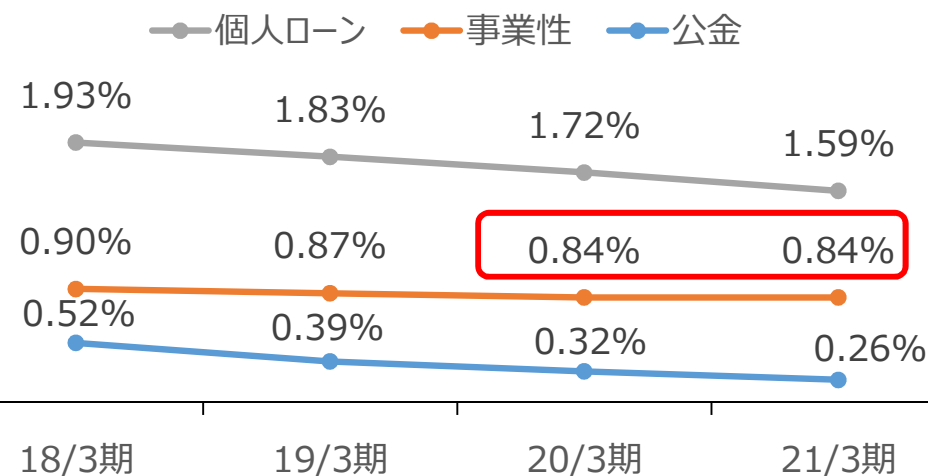
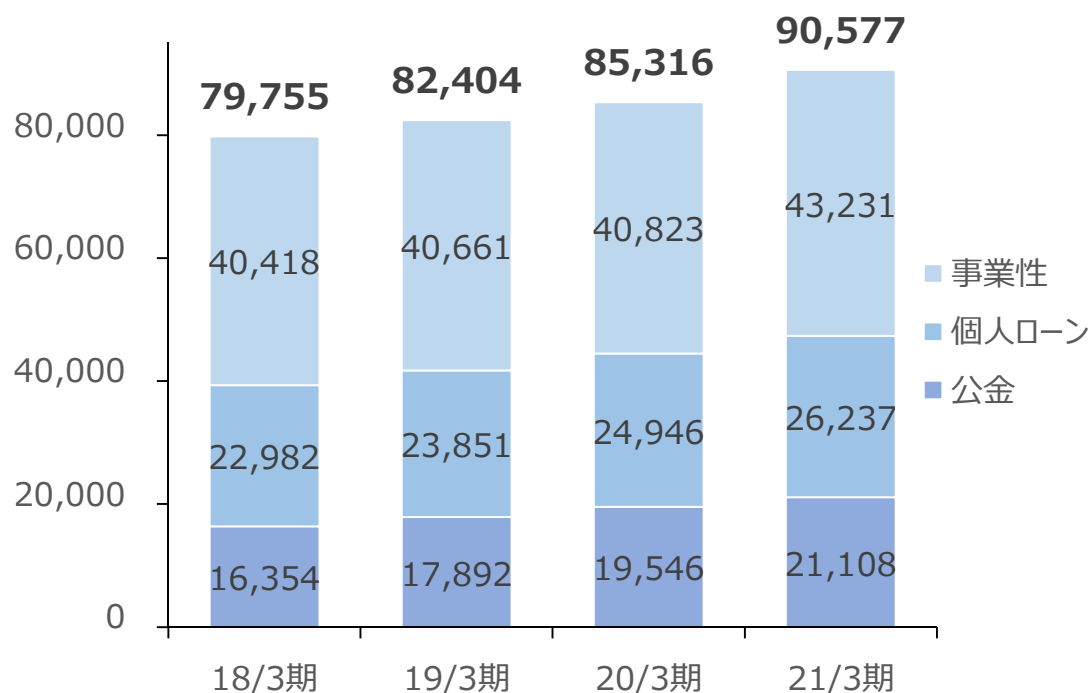
円貨貸出金 利回り推移 (内部管理ベース)

事業性貸出金利回りの下げ止まりにより、円貨貸出金利息は概ね前期同水準を確保しました。

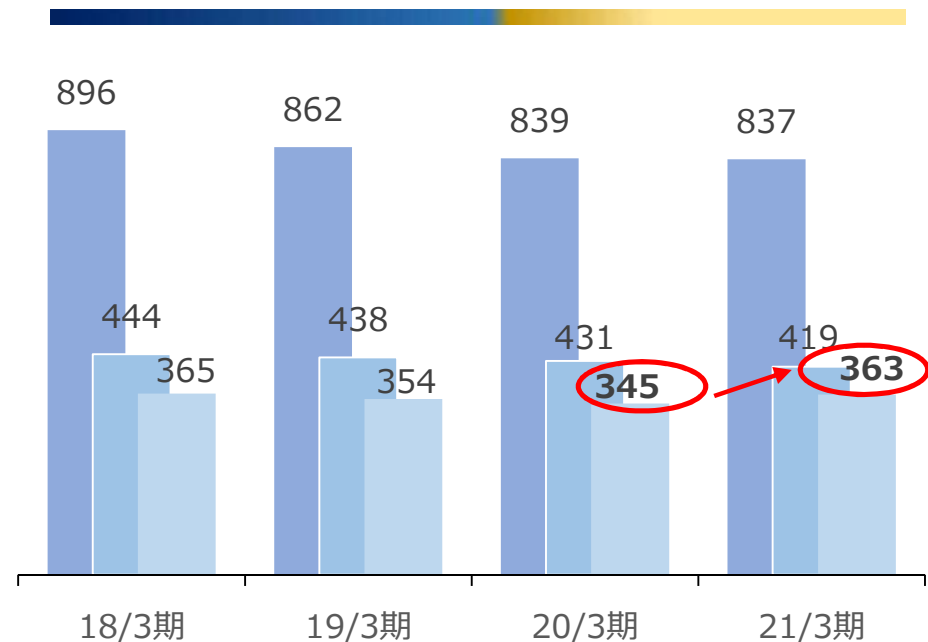
円貨貸出金平残・利回り推移 (内部管理ベース)



(億円)

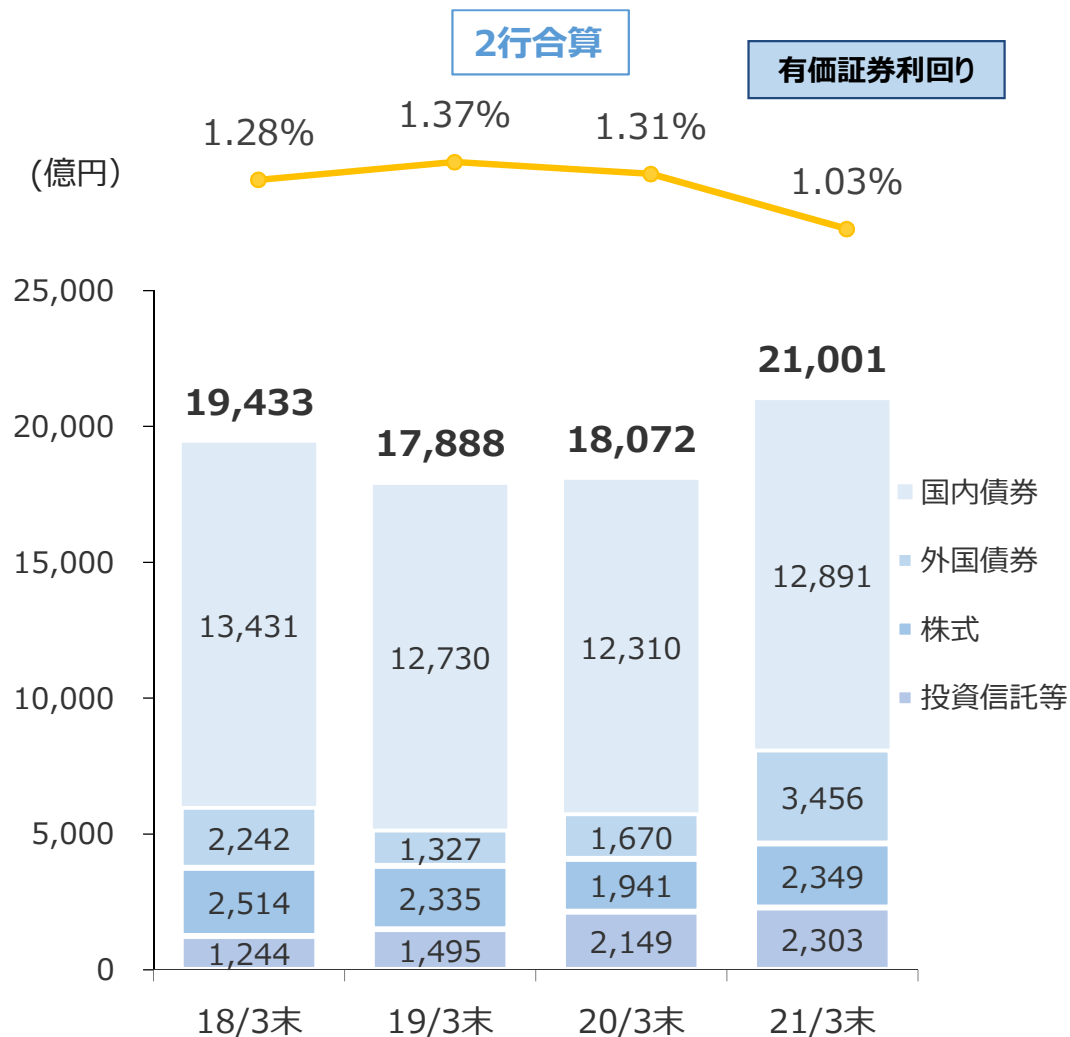


円貨貸出金利息 (内部管理ベース)



有価証券残高は、外国証券や地方債など分散投資にて積み上げを図り、2行合算で前期末比2,929億円増加の2兆1,001億円となりました。株式を中心に、評価損益は前期末比342億円増加の1,110億円となりました。

有価証券残高（末残）



有価証券損益・評価損益

2行合算

	21/3期	増減額	20/3期
有価証券利息	193	△ 38	232
円債	61	△ 18	79
株式	53	1	51
その他	79	△ 21	101
【参考】外貨調達コスト (△)	6	△ 16	23
有価証券の売買損益	75	8	66
国債等債券損益	20	△ 64	84
株式等損益	54	73	△ 18
その他有価証券の評価損益	1,110	342	767
債券	20	△ 47	67
株式	1,156	408	748
その他	△ 67	△ 18	△ 48

非金利収入は、前期比7億円減少の170億円となりました。コンサルティング関連役務収益は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主に上半期に対面営業の制約等の影響を受けましたが、下半期には大きく挽回しております。

非金利収入

2行合算

(億円)

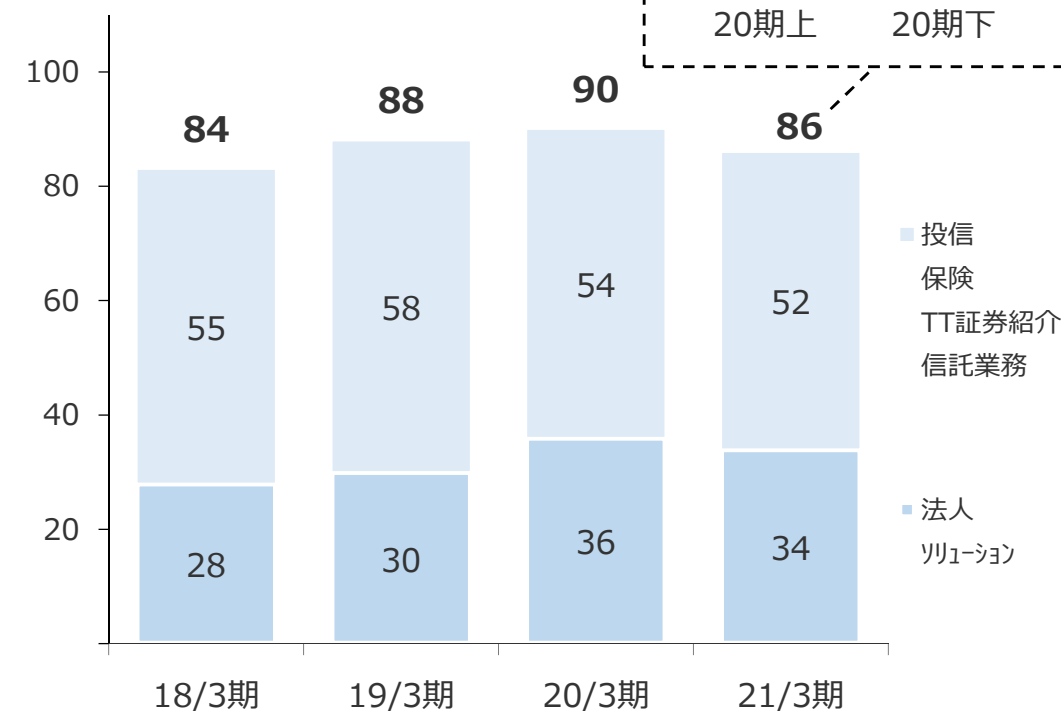
	21/3期	増減額	20/3期
(1) 役務取引等利益	159	△ 5	165
役務取引等収益	332	△ 5	338
うち受入為替手数料	104	△ 2	106
うち投信・保険手数料	47	△ 2	50
うちほくほくTT証券紹介手数料	3	1	2
うち法人ソリューション（※）	34	△ 1	36
私募債・シンジケートローン	19	△ 2	21
M&A、事業承継、その他コンサル	8	△ 1	10
ビジネスマッチング	6	1	5
役務取引等費用（△）	172	△ 0	173
うち支払為替手数料（△）	18	△ 0	18
うちローン保険料・保証料（△）	125	2	123
(2) 特定取引利益	0	△ 0	1
(3) その他業務利益（除く5勘定戻）	10	△ 0	11
うち外為売買損益	9	△ 1	11
(4) 非金利収入計（1） + （2） + （3）	170	△ 7	178
(5) コア業務粗利益	1,207	△ 24	1,232
(6) 非金利収入比率（4） / （5）（％）	14.13	△ 0.33	14.46

※法人ソリューション…私募債、シンジケートローン、コンサル（M&A、事業承継など）、ビジネスマッチングに関する手数料

法人・個人コンサルティング関連役務収益

2行合算

(億円)



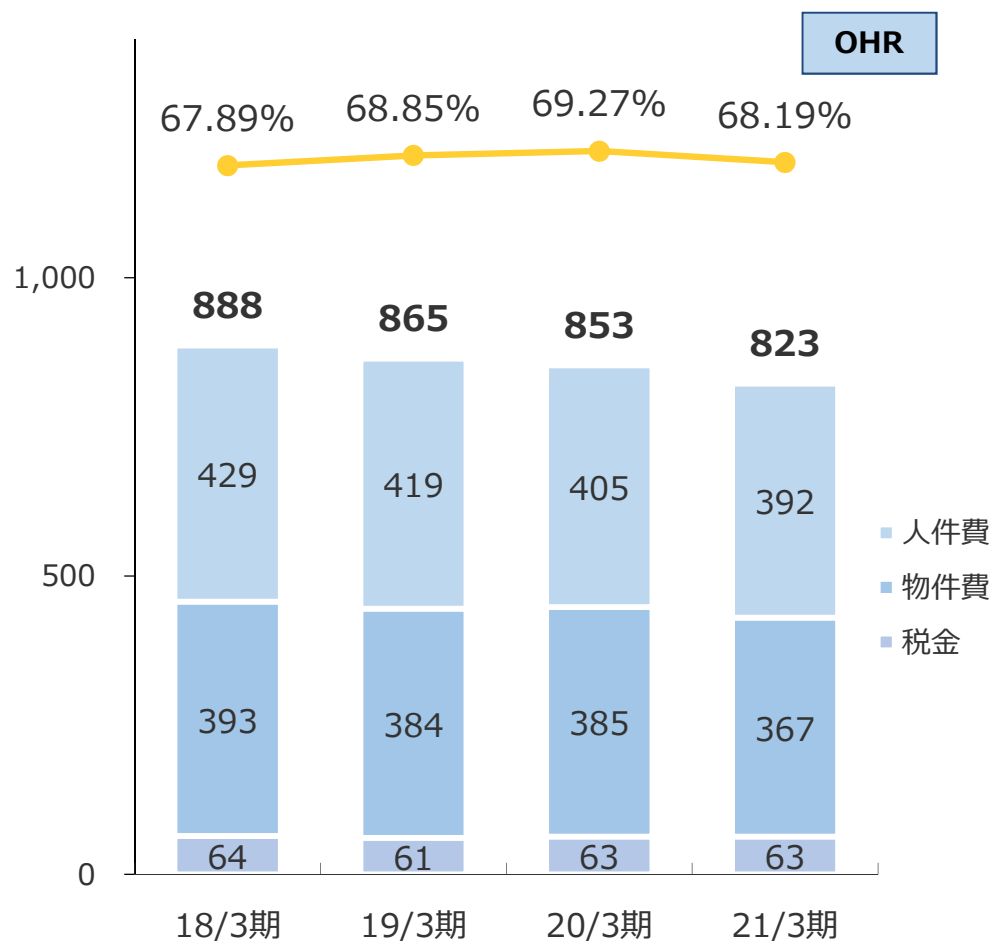
経費・与信費用

継続的な業務効率化の取組みを通じ、経費は前期比30億円減少、OHRは1.08ポイント改善の68.19%になりました。
与信費用は前期比10億円増加の130億円となり、開示債権比率は1.93%になりました。

経費・OHR

2行合算

(億円)

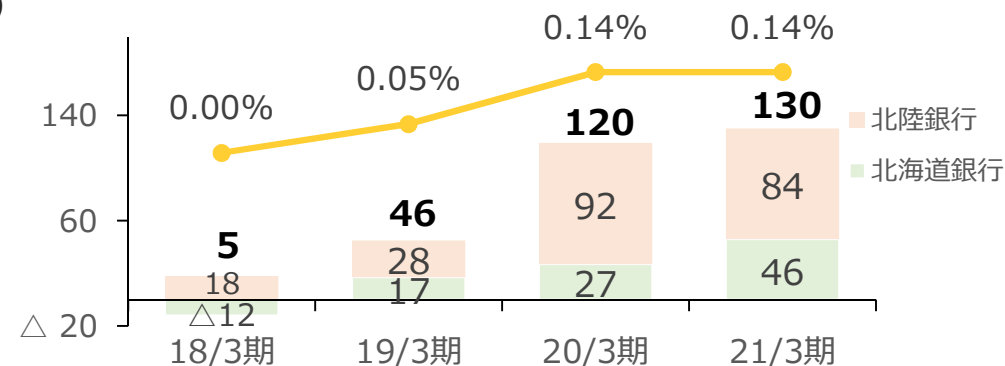


与信費用

2行合算

与信費用比率

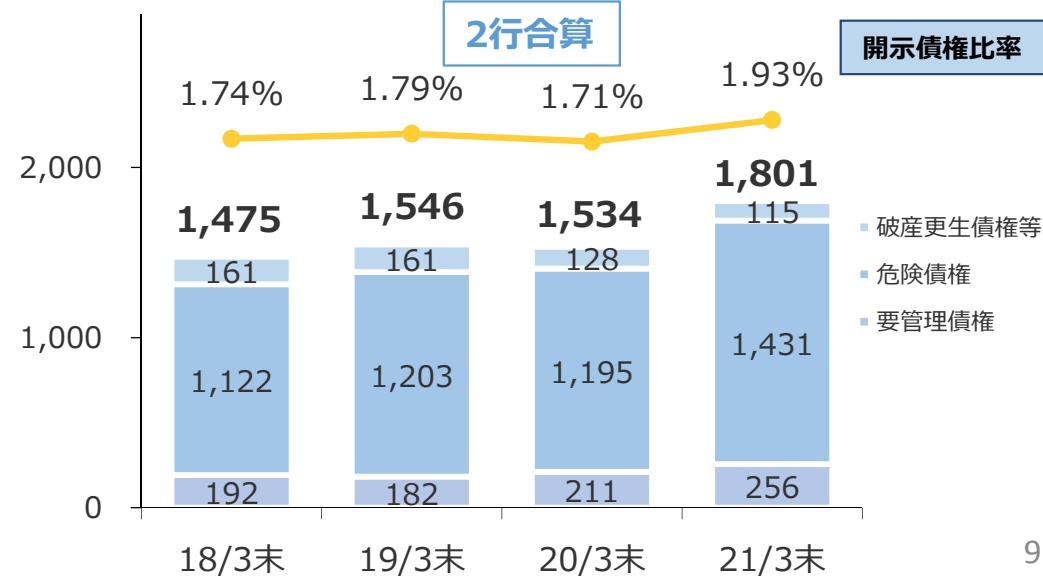
(億円)



金融再生法開示債権

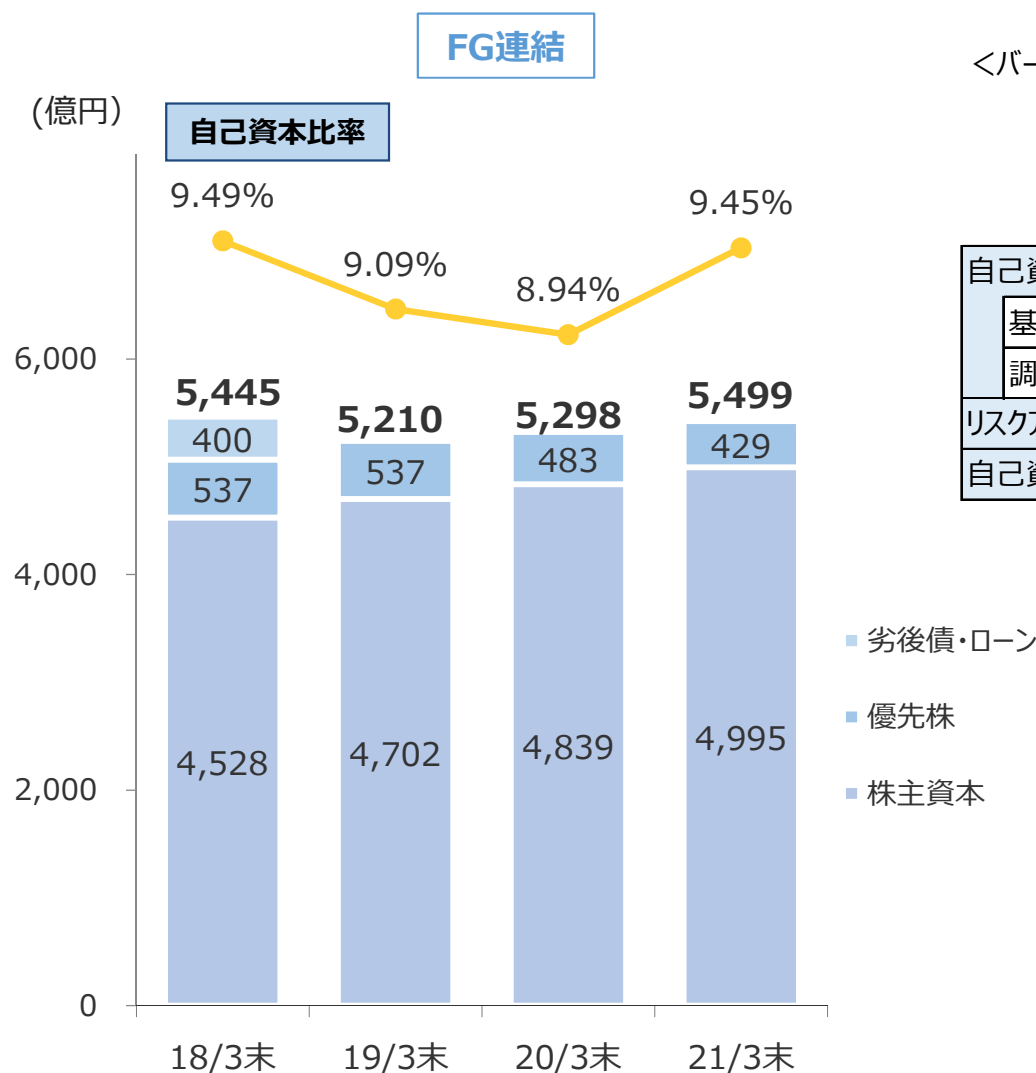
2行合算

開示債権比率



自己資本比率は、10月1日に優先株式53.7億円の一部償還を実施しましたが、利益剰余金の積上げによる自己資本の増加等により、前期末比0.51ポイント上昇の9.45%となりました。

連結自己資本比率



自己資本・リスクアセット

<バーゼルⅢ国内基準>

FG連結

(億円)

	経過措置適用			完全実施(試算)		
	21/3末	増減額	20/3末	21/3末	増減額	20/3末
自己資本	5,499	201	5,298	5,036	262	4,774
基礎項目	5,637	189	5,447	5,174	251	4,923
調整項目 (△)	137	△ 11	148	137	△ 11	148
リスクアセット	58,160	△ 1,071	59,232	58,028	△ 1,069	59,098
自己資本比率	9.45%	0.51%	8.94%	8.67%	0.60%	8.07%

ROE

	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3
連結	5.1%	3.6%	4.0%	3.4%	3.5%
2行合算	5.7%	4.4%	4.9%	3.9%	4.1%

※2019年および2020年の10月1日に優先株の一部53.7億円の償還を実施しております。

2022年3月期 通期業績予想

FG連結

(億円)

	22/3期 業績予想	前期比
経常利益	305	△ 17
当期純利益 (※)	185	△ 28

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

2行合算・子銀行単体

(億円)

	【2行合算】		【北陸銀行】		【北海道銀行】	
	22/3期 予想	前期比	22/3期 予想	前期比	22/3期 予想	前期比
コア業務粗利益	1,225	17	670	2	555	14
経費 (△)	825	1	440	0	385	0
コア業務純益	400	15	230	1	170	13
与信費用 (△)	130	△ 0	80	△ 4	50	3
経常利益	315	△ 5	190	△ 15	125	9
当期純利益	210	△ 14	120	△ 22	90	8

2022年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	35円00銭	35円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

※参考 配当推移

20/3期	21/3期	22/3期 予想
40円00銭	35円00銭	35円00銭

Ⅱ. 経営戦略

中期経営計画(2020/3期～2022/3期)

目指す姿

位置付け

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針

「地域社会発展への貢献」

「未来への進化・変革」

「グループ総合力の発揮」

共通 価値の創造

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ

重点指標

項目	2020/3期	2021/3期	前期比	2022/3期 中計目標
本業利益 (2行合算)*	169億円	196億円	+27億円	220億円以上
当期純利益 (連結)	202億円	213億円	+10億円	220億円以上
自己資本比率 (連結)	8.94%	9.45%	+0.51%	8%台維持
コア業務粗利益ベースOHR (2行合算)	69.27%	68.19%	△1.08%	60%台維持

*「コア業務純益－有価証券利息損益（外貨調達コスト除くネット損益）」にて算出

■ 地域社会・お客さまへ

資金繰り支援
お客さま支援体制の構築
非対面サービスの充実
オンラインツールを活用した面談
オンラインセミナーの実施
各種手数料の免除
各種相談窓口の設置
寄付金、募金支援
…etc.

■ 感染拡大防止への取組み

飛沫防止シートの設置
ATMコーナーやロビーの消毒
テレワーク、時差出勤の活用
スプリット・オペレーションの実施
オンライン形式での各種会議・研修の実施
…etc.



■ お客さま支援の取組み

資金繰り支援

- ・日本公庫と新型コロナ対策の連携ユニット「Be With」を創設
- ・商工中金と新型コロナ対策の連携ユニット「Bright Signs」を創設

～各種相談がワンストップで可能に～

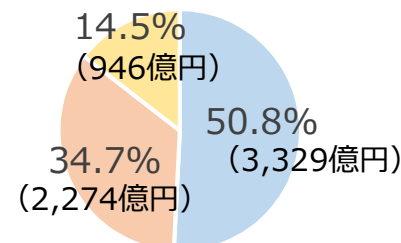


【新型コロナウイルス関連融資状況】

	件数	融資額
2行合算	21,106件	6,550億円
北陸銀行	12,831件	3,842億円
北海道銀行	8,275件	2,707億円

※2020年2月～2021年3月末の累計

エリア別実行金額割合



■ 北海道地区 ■ 北陸地区 ■ 3大都市 他

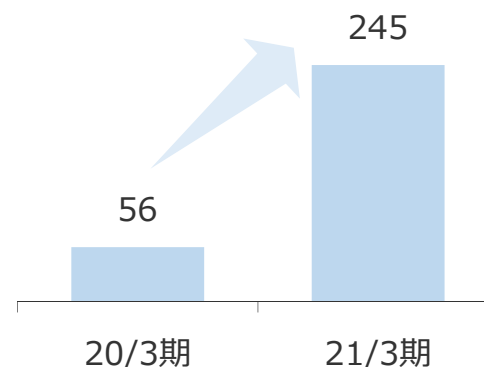


ほくほく連携の強化

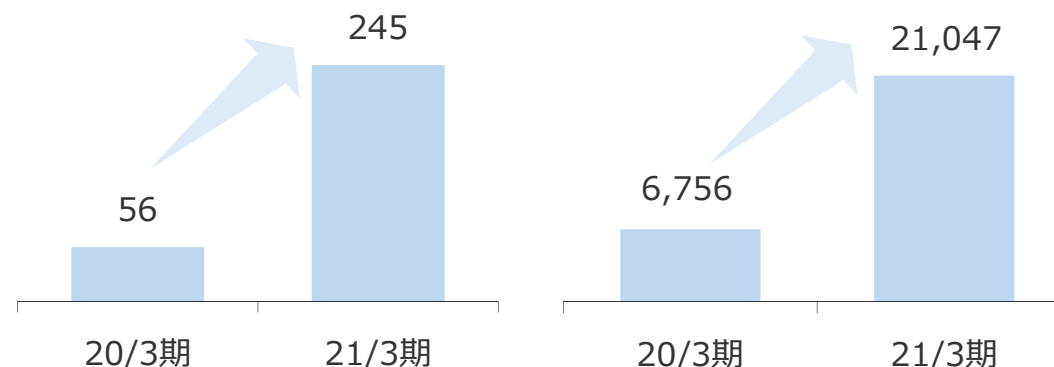
北陸銀行・北海道銀行を中心としたグループ広域営業基盤を生かし、北陸銀行のお客さまと北海道銀行のお客さまを繋げる広域ビジネスマッチングや協調による資金調達支援などに積極的に取り組んでおります。



ほくほく連携(※)実績(件)



連携融資実行額(百万円)



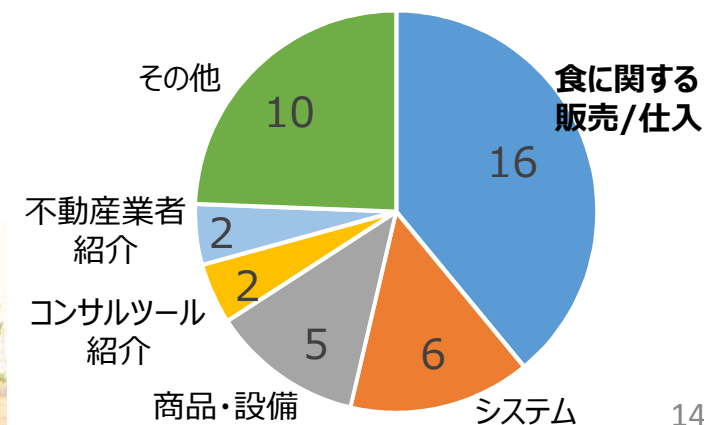
(※) 2行の連携によるお客さまの課題解決に資する取組み
(協調融資、ビジネスマッチングなど)

2020年度実績

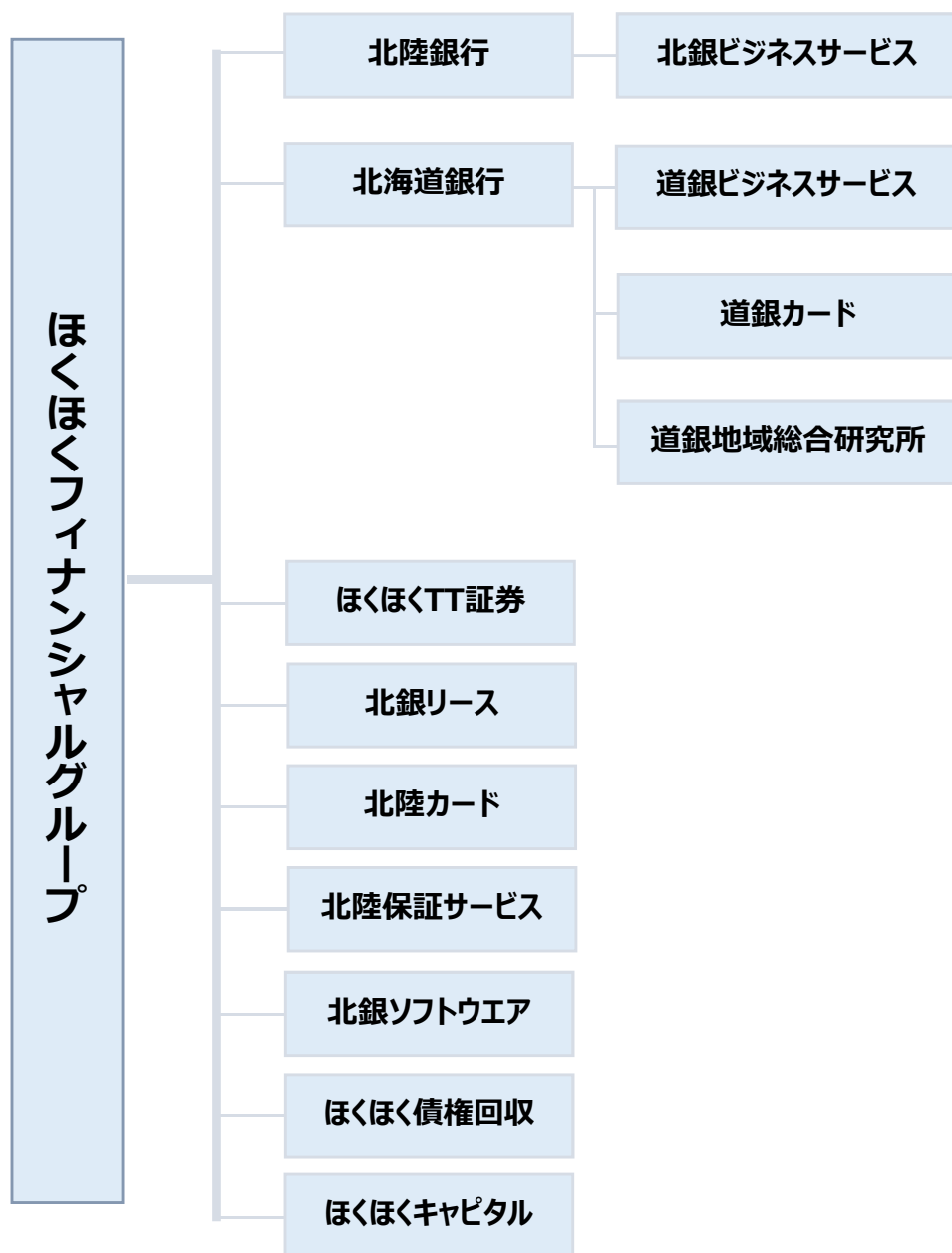
ほくほくビジネスマッチング商談 **127件** 成約合計**41件**

お客さまのビジネスマッチングニーズの例

- ・食に関する販路・仕入先の拡大
- ・システムの導入や販路拡大
- ・商品設備の販路拡大
- ・コンサルティング会社のご紹介
- ・不動産取得・売却(仲介経由)



総合金融グループとしての金融サービスを提供



ほくほくTT証券

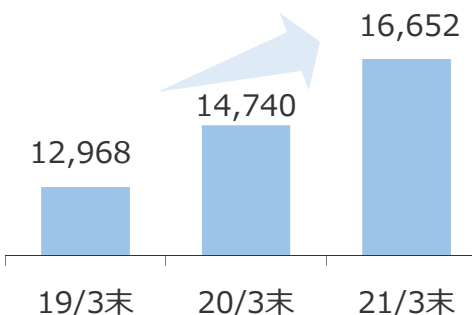
■ 銀証連携による総合提案

銀行より紹介を受けたお客さまへ証券会社としての総合提案を実施

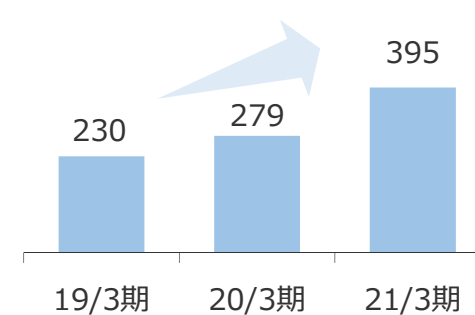
■ 営業拠点の拡充

道内3拠点目となる帯広支店を北海道銀行西五条支店内に開設
(2021年6月に開設予定)

証券口座数

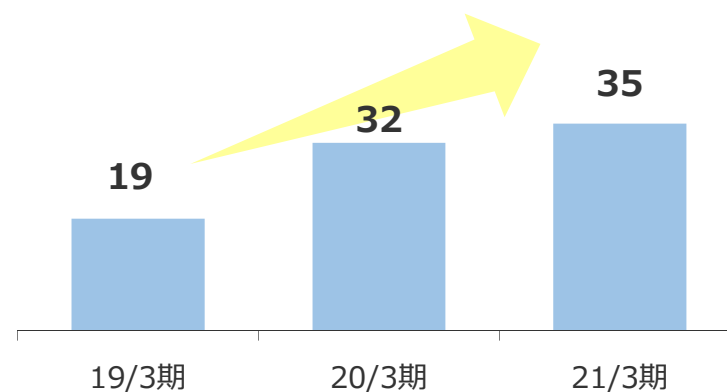


銀証連携手数料 (百万円)



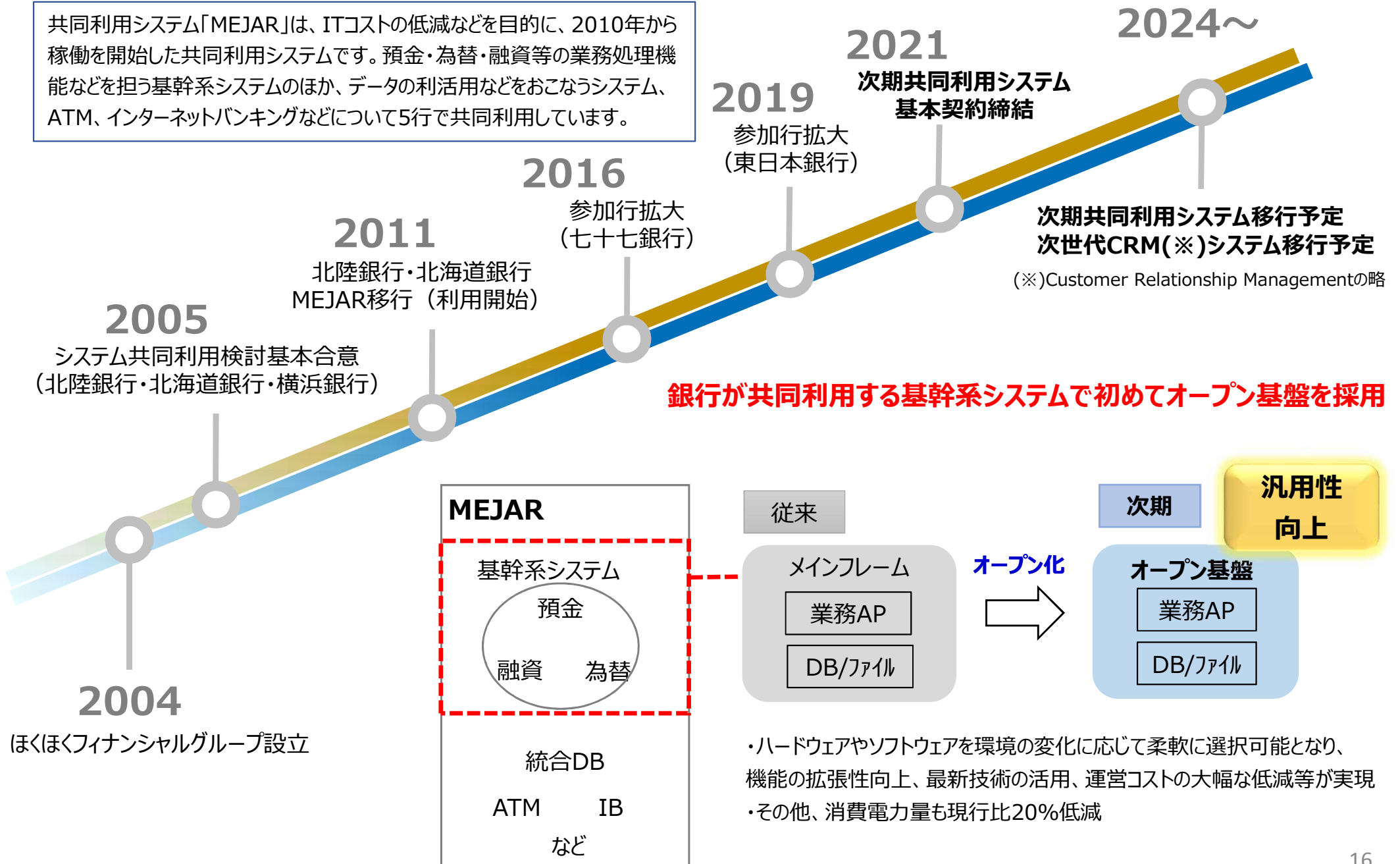
関連会社利益

関連会社経常利益 (億円)



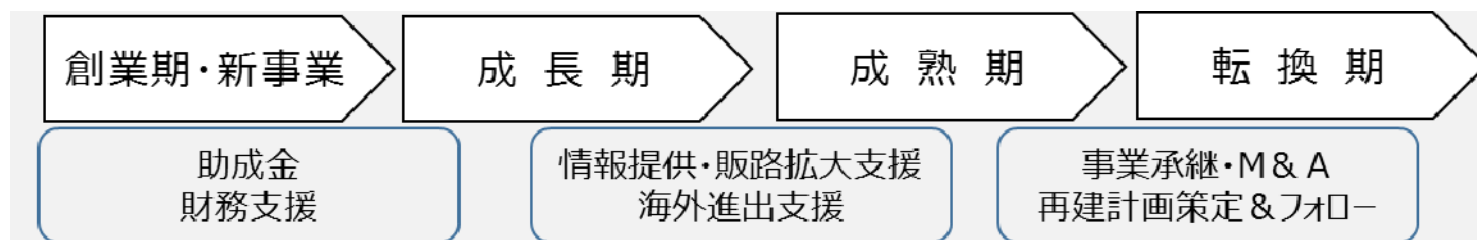
次期共同利用システムに関する基本契約の締結

共同利用システム「MEJAR」は、ITコストの低減などを目的に、2010年から稼働を開始した共同利用システムです。預金・為替・融資等の業務処理機能などを担う基幹系システムのほか、データの利活用などをおこなうシステム、ATM、インターネットバンキングなどについて5行で共同利用しています。

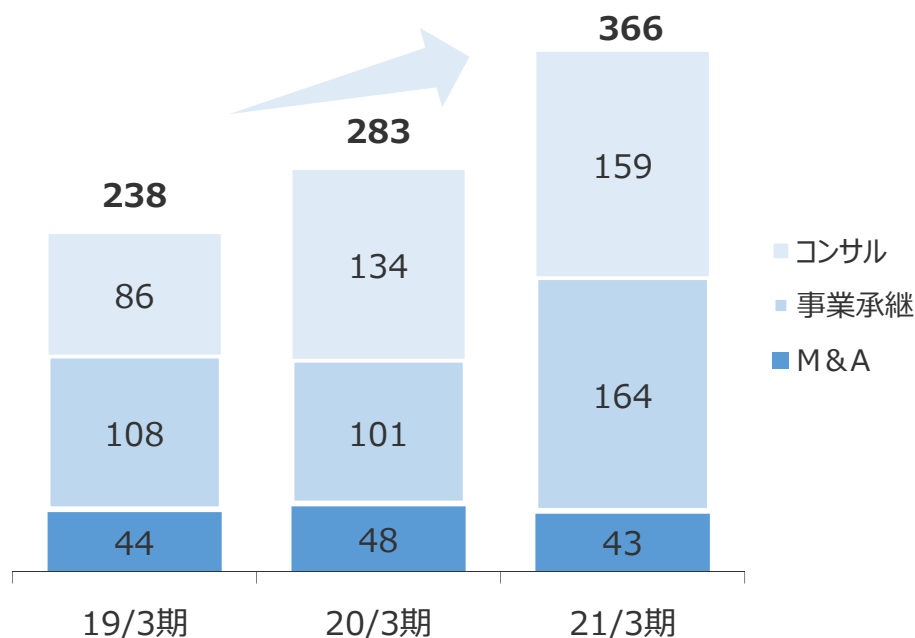


企業の経営課題やライフステージに応じた最適なソリューション提供

従来のソリューションサービスに加え、人材紹介業務やITコンサルティング業務などサービスの領域拡大を図っております。



M&A、事業承継、コンサル成約件数



2020年度M&Aアドバイザリー契約締結件数 **129件**（前期比+8件）

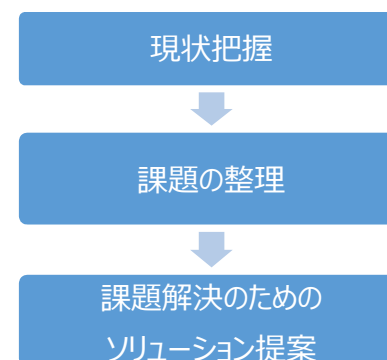
■ ソリューション領域の拡大

ITコンサルティングサービス（北陸 2019/4～）

人材紹介事業（北陸 2019/7～）

■ ITコンサルティングサービス

北陸銀行は、法人および個人事業主のお取引先を対象とし、社内におけるIT活用、業務効率化、ペーパーレス化等の課題を解決するため、「ITコンサルティングサービス」を展開しています。



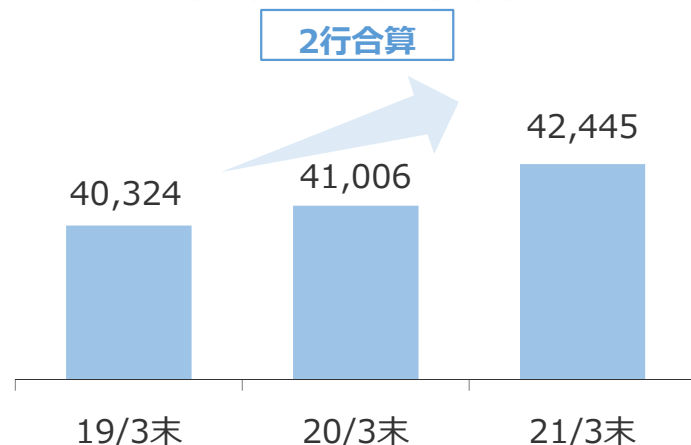
お客さま各社の状況・ニーズに沿った最適なコンサルティングサービスの提供

企業の経営課題やライフステージに応じた最適なソリューション提供

■ 事業性評価への取り組み

接点強化による対話の「量」を増やすことに加え、事業性評価の「質」の向上によりお客さまへの最適なソリューションを提供

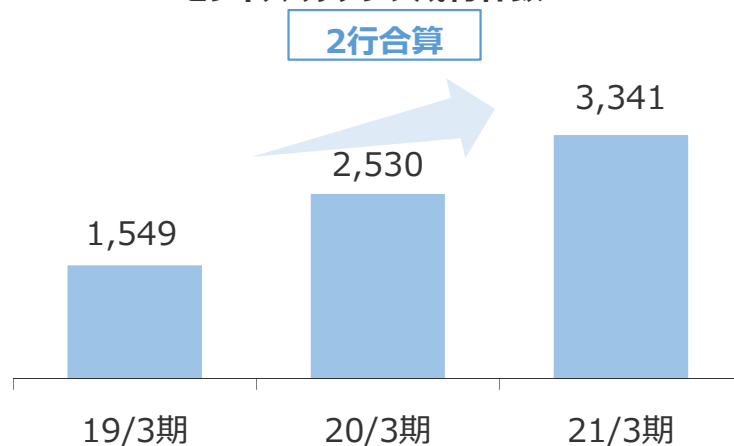
事業性貸出残高（億円）



■ ビジネスマッチングの強化

両行ビジネスマッチングシステム（BMS）の共通化
登録商材数 8,516件（2021年3月末時点・2行合算）

ビジネスマッチング成約件数



■ 非対面サービスの充実

- Hokuriku Big Advanceのアプリ化
- オンラインセミナーの実施
- オンラインツールを活用した面談



■ 公的助成申請サポートによる創業等の支援

公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、事業の多角化をサポート

	北陸銀行	北海道銀行
2020年度 ものづくり・商業・サービス生産性 向上促進補助金採択件数(件)	10件	33件

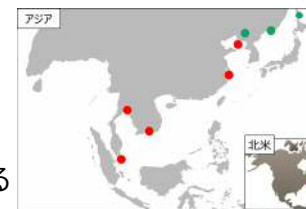
■ 海外取引支援

コロナ禍においてもオンラインツールを活用したWEB面談等も活用し
お取引先の海外での企業活動を支援

お取引先との面談件数

2,167件（2020年度・2行合算）

※）海外駐在員事務所の海外取引支援に係る
面談件数（WEB面談含む）



海外ビジネスマッチング成約件数

33件（2020年度・2行合算）

※）お取引先と海外現地法人のビジネスマッチング



総合金融グループとして、お客さまのライフステージに応じたトータルソリューションを提供

- 顧客本位の業務運営の実践
- お客さまのリターンの改善に向けた取り組み
～長期・分散・積立を基本とした運用提案～
- ライフステージに合わせた資産形成提案



お客さま本位の
徹底

- 資産運用オンラインセミナーの開催
- 投資信託サイトの全面リニューアル



商品
ライン
アップの
充実

情報
提供の
充実

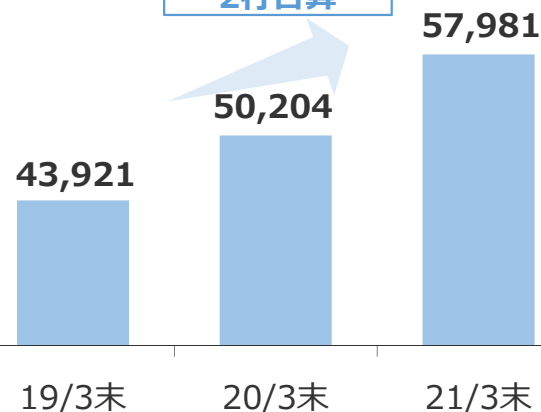
組織体制の
維持・向上

- IB専用商品の充実
- 資産運用・承継などのニーズに対し、
ワンストップでサービスを提供

- 研修や行内資格試験の実施による担当者の
専門知識習得と提案力強化
- 資産運用相談拠点の拡充

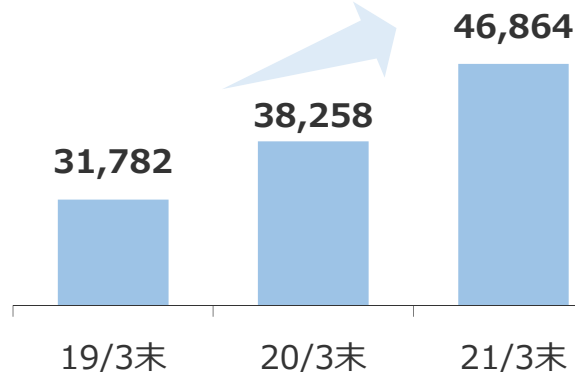
平準払保険 契約先数

2行合算



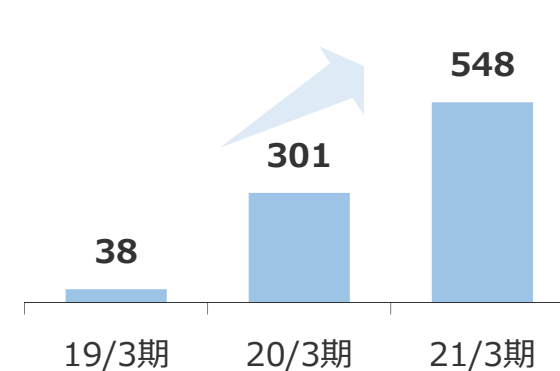
積立型投資信託 先数

2行合算



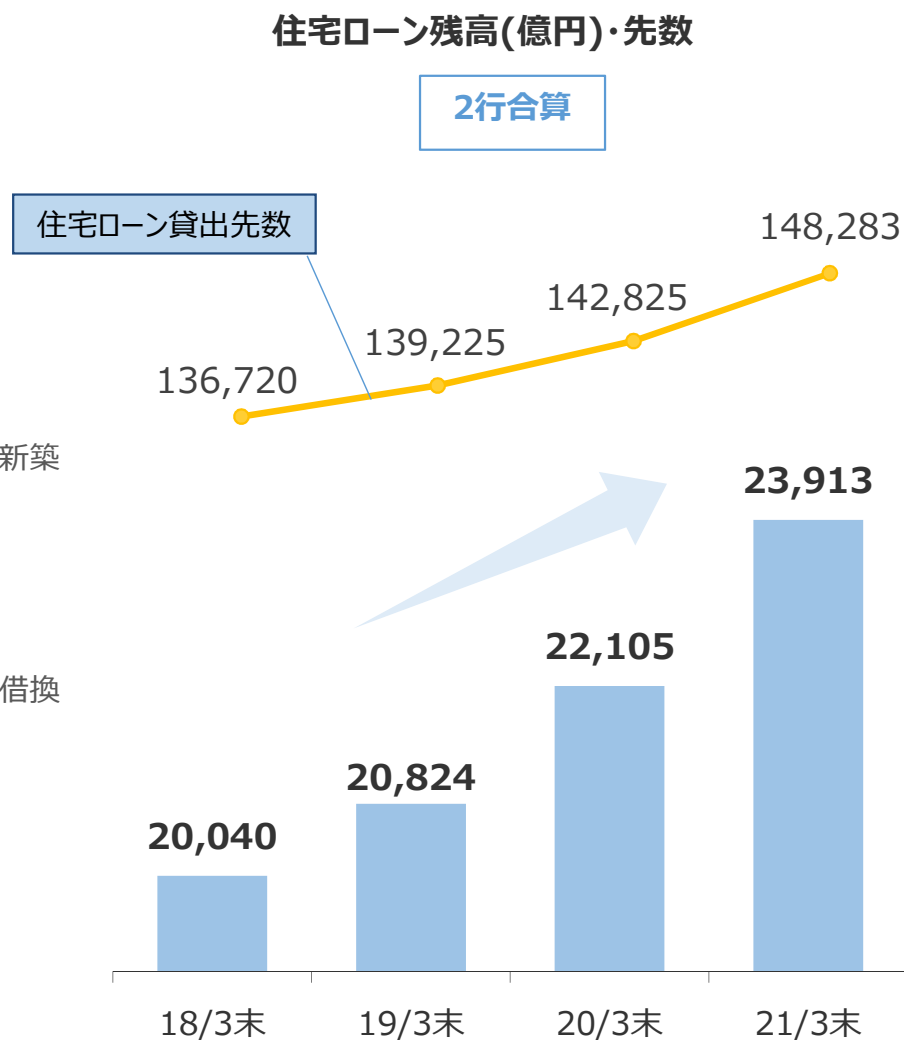
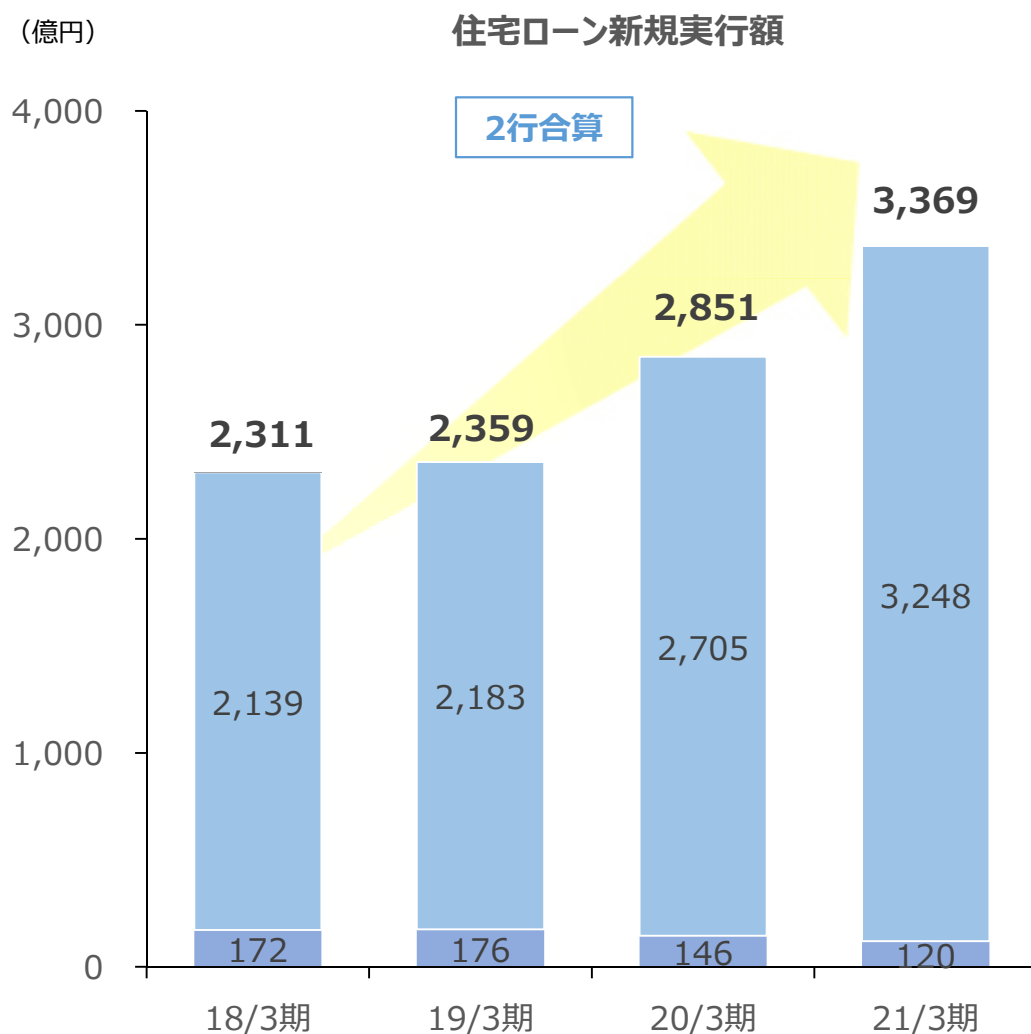
信託取扱件数（取次を含む）

2行合算



住宅ローンの商品性・利便性の向上

住宅ローンの商品性・利便性向上により、新規実行額は過去最高の3,369億円となりました。引き続き、遠隔相談窓口など非対面サービスも活用し、お客さまのニーズにお応えしてまいります。



デジタル化による利便性向上・非対面サービスの拡充

■お客さまの利便性向上

- ・タブレット端末による金融商品の申込受付
- ・来店予約サービス
- ・各種手続きの電子化
 - 住宅ローンの電子契約
 - 預かり物件管理システム
- ・法人インターネットバンキングのプラン拡充
- ・ビジネスポータルによるサービス拡充
 - 電子交付サービスの開始



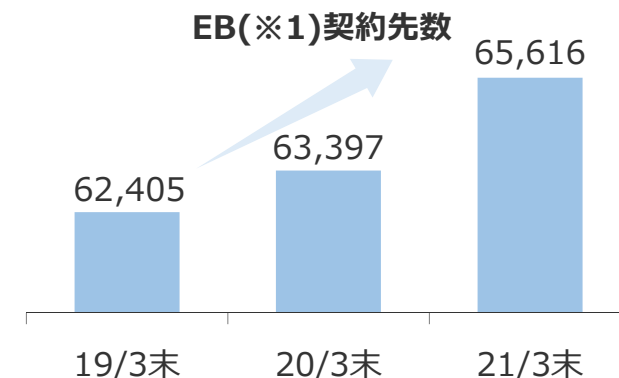
電子交付サービス

郵便等でお届けしている各種書類を、インターネット上で閲覧できる便利なサービス。
2020年10月5日以降に交付された書類から「電子交付サービス」を開始しました。

メリット ① MERIT
郵便より早く書類を確認！
書類が更新された場合は、電子メールでお知らせする機能も！

メリット ② MERIT
ペーパーレスでエコに貢献！
紙資源の削減が図れ、環境に優しいサービスです。

メリット ③ MERIT
書類の管理が簡単で安心！
交付書類はご利用のパソコンに保存できるため、保管場所も取らず、紛失リスクも軽減されます。

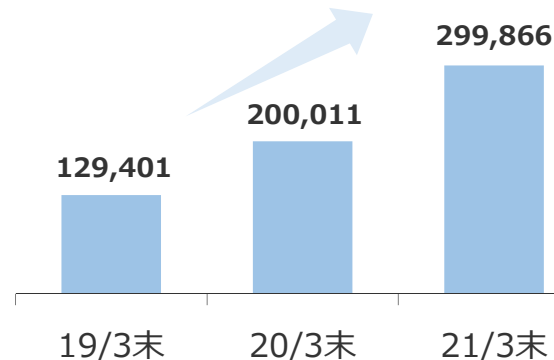


(※1)インターネットバンキング・パソコンサービスをご利用いただいている法人取引先数

■非対面サービスの拡充

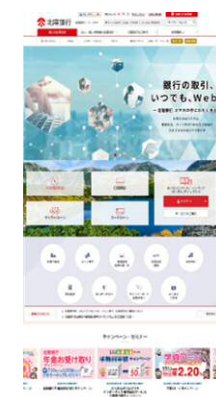
- ・Hokuriku Big Advance(HBA)のアプリ化
 - 2021年3月末会員数 2,528先（前期比+1,506）
- ・インターネットによる生命保険の募集開始
- ・無担保ローン「WEB完結サービス」の対象商品拡大
- ・口座開設アプリ・ポータルアプリ・HPリニューアル

スマホアプリ利用先数 (※2)



(※2)両行のスマホアプリをインストールかつログインいただいているお客さまの先数

北陸銀行ポータルアプリ・HPリニューアル
～お客さまにとってよりわかりやすく・使いやすく～

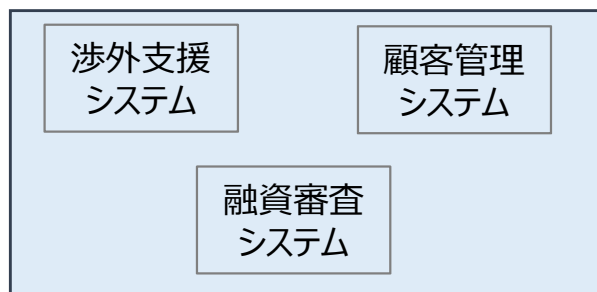


業務改革・キャッシュレス化

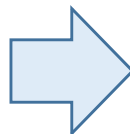
■ 渉外業務改革を実現する次世代渉外支援(SFA)・顧客管理(CRM)/融資審査システムの開発着手

渉外支援システム・顧客管理システム・融資審査システムをMEJAR5行共同で再構築

〈MEJAR 5 行で再構築〉2024年稼働予定



一元管理



「顧客管理」・「融資審査」
+
新機能 営業支援の強化

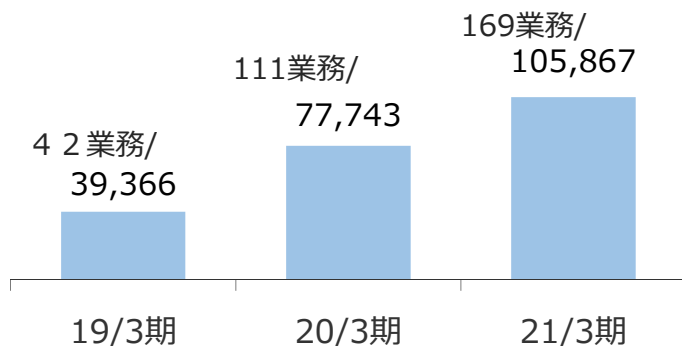
提案活動の『量』・『質』の向上

■ 業務効率化

- ・RPAを活用した業務削減
- ・業務の簡素化・集中化

RPAを活用した業務削減

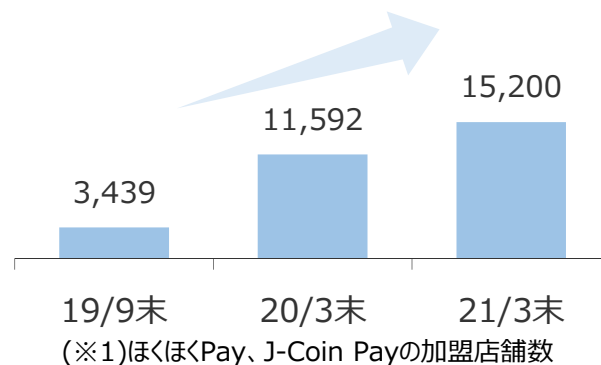
2行合算・累計



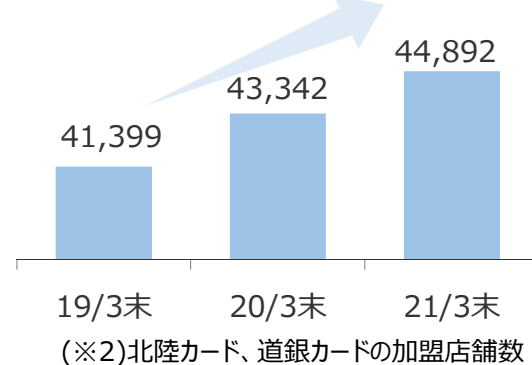
■ 地域のキャッシュレス化推進

- ・法人向けサービス「J-Coin Biz」の取扱開始
- ・ほくぎんJCBデビットのApple Pay対応開始
- ・北陸カード、道銀カードと連携した加盟店取引の拡大

銀行キャッシュレス加盟店(※1)数



カード子会社加盟店(※2)数





持続可能な地域社会の実現 ～環境への取り組み～

■「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」の制定 およびTCFD提言への賛同

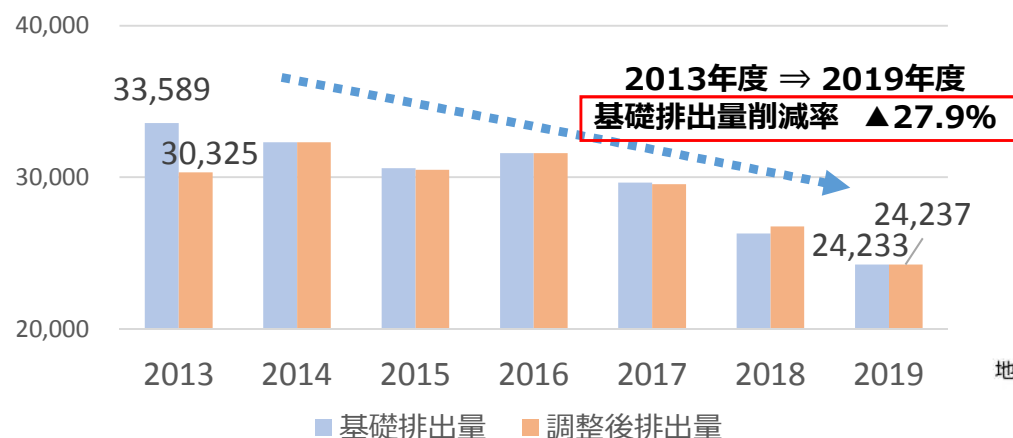
2021年2月1日、「ほくほくフィナンシャルグループ環境方針」を制定・公表し、気候変動に関わるリスク・機会の開示を推奨する「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同を表明いたしました。今後、気候変動がもたらすリスクと機会の分析、対応、情報開示を強化してまいります。

■ 温室効果ガス排出量削減に向けた取り組み

タブレット等の活用によるペーパーレス化、環境に配慮した設備や営業車の導入などにより排出量削減に取り組んでまいりました。2021年4月、北陸銀行にて地域の水力資源活用に貢献する「とやま水の郷でんき」を導入しました。

今後、政府の新たな排出量削減目標（2030年度に2013年度対比▲46%）を踏まえ、さらに取り組みを強化してまいります。

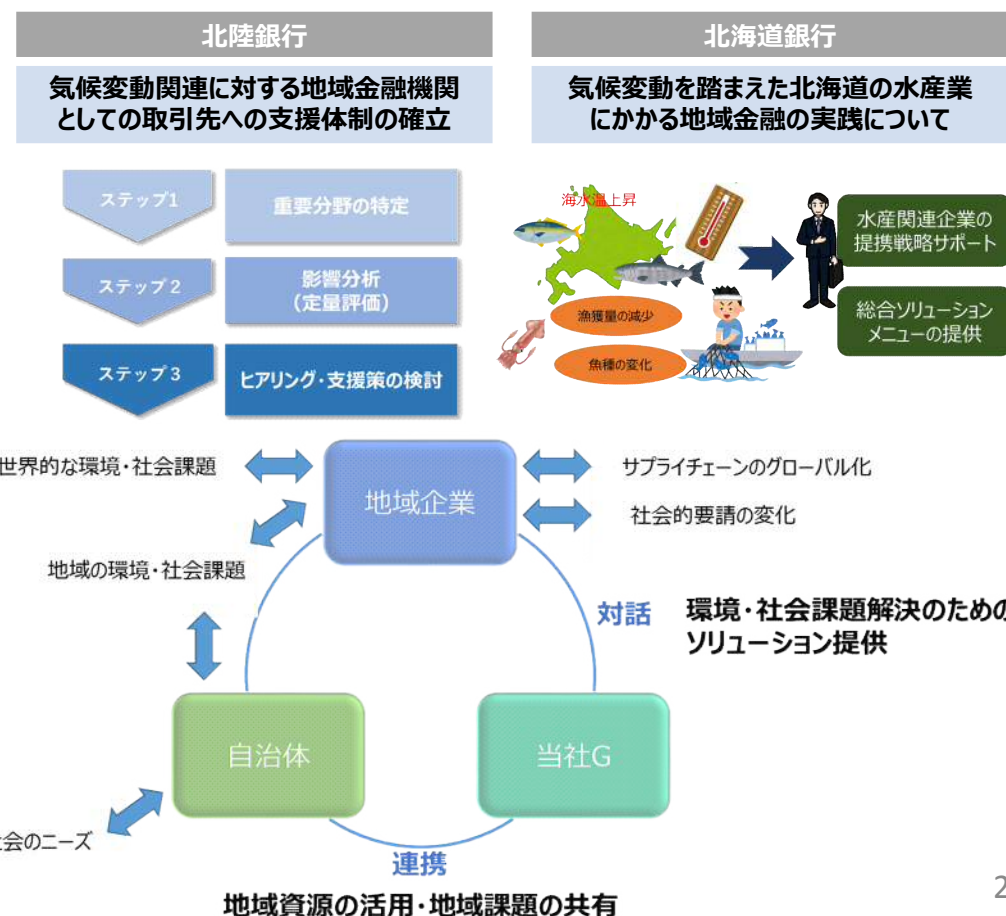
温室効果ガス排出量推移（年度）



■ ESG地域金融への取り組み

北陸銀行および北海道銀行は、環境省が実施する「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として、地域への影響度等を踏まえた重点分野について、地域金融機関としての支援策・対応策の検討をおこないました。

この取り組みの経験を活かし、今後、他業種へも検討対象を広げ、地域の企業が抱える気候変動の課題解決をサポートできる体制構築に取り組んでまいります。



ワークライフバランス、ダイバーシティへの取り組み

■ 健康経営の推進

従業員の健康保持・増進に向けた働きやすい環境づくり
や従業員の健康づくりへの支援の取り組みが評価され、
北陸銀行・北海道銀行ともに「健康経営優良法人
2021大規模法人部門（ホワイト500）」の認定を取得

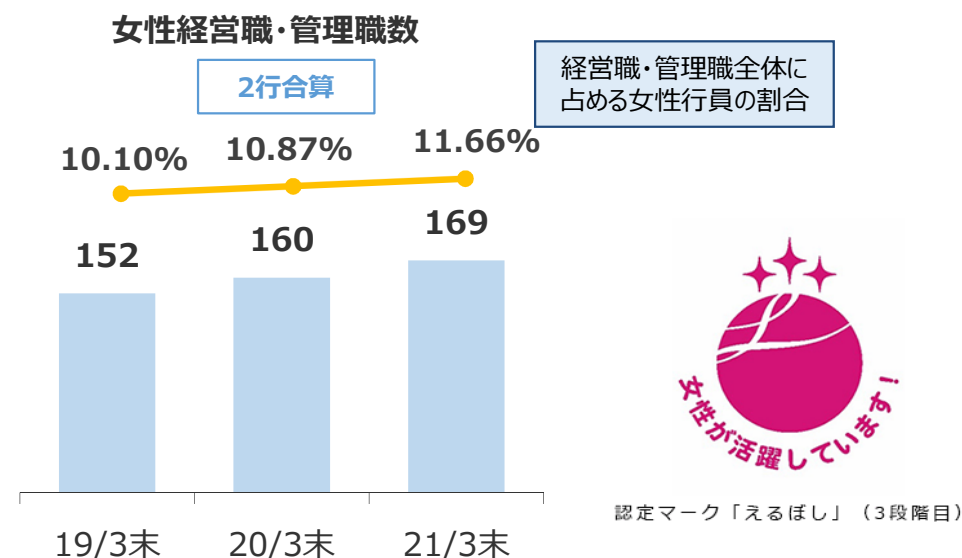


※健康経営優良法人認定制度

経済産業省および日本健康会議が実施している制度で、地域の健康課題や日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実践していると認められた法人を顕彰

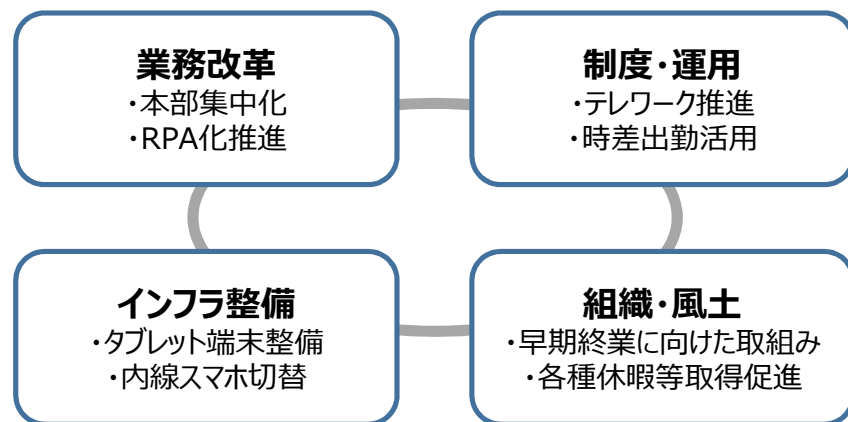
■ ダイバーシティの推進

多様な人財が能力や経験を発揮できる環境を整備



■ 働き方改革の推進

多様で柔軟な働き方を実現することで、就業機会の拡充、生産性の向上を実現



■ 仕事と子育ての両立支援充実

＜2020年度の取り組み＞

- ・男性育休100%宣言（北陸）
- ・育休者向け復職サポートセミナーの新設（北海道）

- ・男性育休取得率・・・100%（北陸・北海道）
- ・有給休暇取得日数（2020年度実績）
 - ＜北 陸＞ 13.4日
 - ＜北海道＞ 13.2日



本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:寺田・谷口)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:info@hokuhoku-fg.co.jp

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。